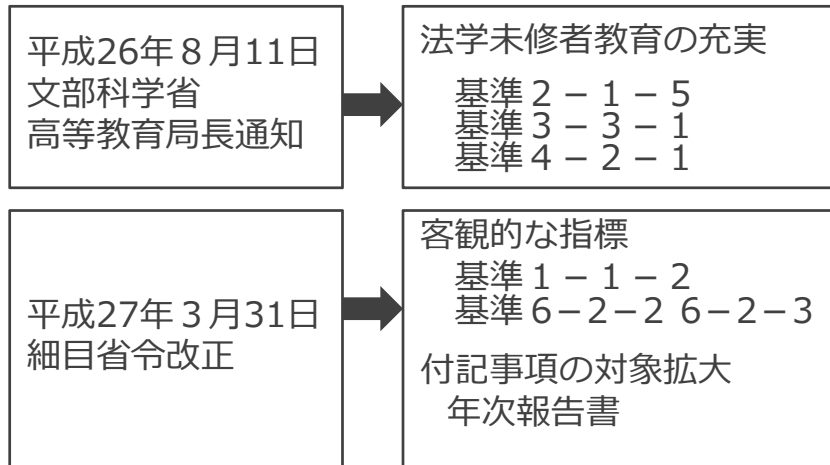


法科大学院評価基準要綱 の主な改定点について

独立行政法人大学評価・学位授与機構
平成27年8月10日

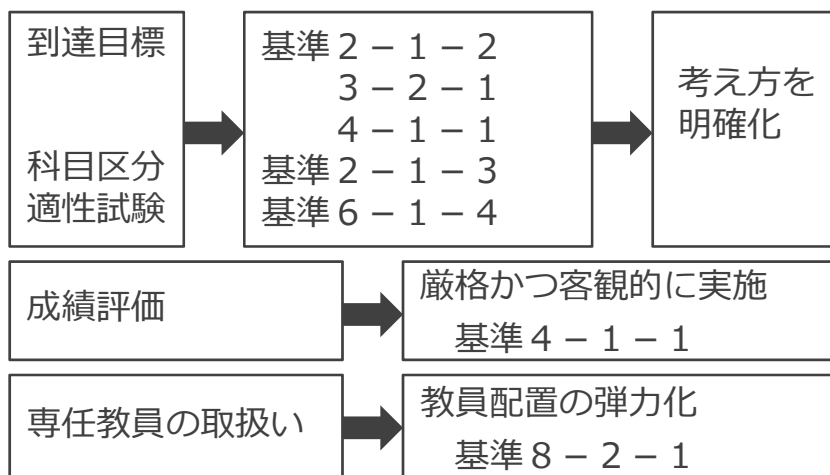


法令改正に伴う主な改定点



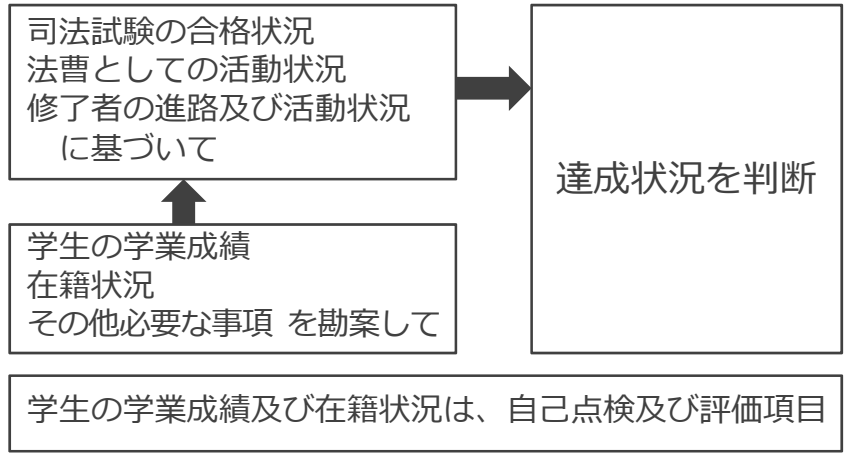
2

法令改正以外の主な改定点



3

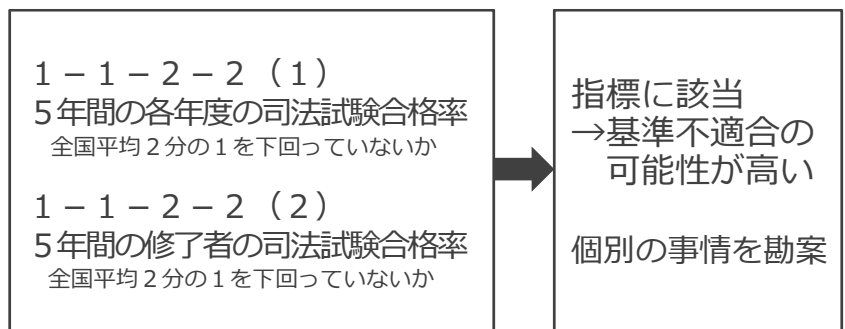
基準 1-1-2 解釈指針 1-1-2-1
教育の理念及び目標の達成状況



【要綱 4 頁 新旧 5 頁】

4

基準 1-1-2 解釈指針 1-1-2-2
司法試験合格率に関する指標（1）



【要綱 5 頁 新旧 5 頁】

5

基準 1 - 1 - 2 解釈指針 1 - 1 - 2 - 3
司法試験合格率に関する指標 (2)

1 - 1 - 2 - 3

5年間の修了者の司法試験合格率
7割以上となることが望ましい

優れた特徴と評価

→ 7割未満不適合
ではない

「望ましい」解釈指針を充足すると優れた特徴と評価
【要綱 2 頁】

このほかの「望ましい」解釈指針

4 - 1 - 2 - 2 8 - 2 - 1 - 3 11 - 1 - 1 - 4
4 - 2 - 1 - 2 8 - 3 - 1 - 1 11 - 2 - 1 - 2

【要綱 5 頁 新旧 6 頁】

基準 2 - 1 - 1 4 - 3 - 1 6 - 1 - 4
飛び入学制度の活用

法科大学院教育の
段階性及び完結性

解釈指針 2 - 1 - 1 - 2

カリキュラム編成
学修指導の配慮が必要

法学既修者認定

解釈指針 4 - 3 - 1 - 4

実施時期対象科目を適切
に判断する

適性及び能力の確認

解釈指針 6 - 1 - 4 - 4

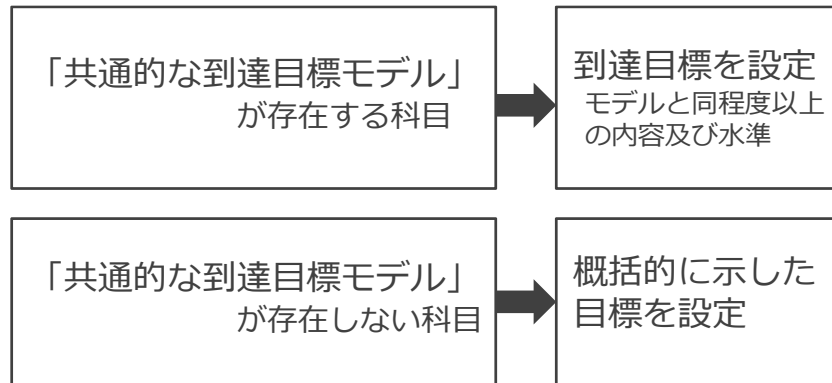
学部成績などを勘案

【参考資料】

中教審法科大学院特別委員会 (第63回) 資料 6

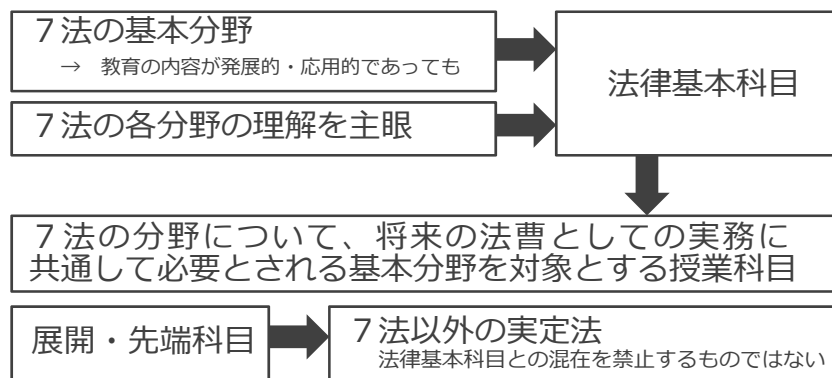
【要綱 6 25 30 頁 新旧 7 32 39 頁】

基準 2 - 1 - 2 到達目標の設定



【要綱 6 頁 新旧 8 頁】

基準 2 - 1 - 3 科目区分の明確化



【要綱 7 頁 新旧 8 頁】

基準 2 - 1 - 4 解釈指針 2 - 1 - 4 - 1
法律基本科目の基本分野

7法の分野について、将来の法曹としての
実務に共通して必要とされる基本分野

法律基本科目

授業を通じて修得させる
必要がある内容
→必修科目

自学自習に委ねる内容

【要綱 9頁 新旧11頁】

10

基準 2 - 1 - 5
法律基本科目の必修総単位数の上限

【原則】
法律基本科目の必修総単位数

上限 62単位

【法学未修者1年次及び2年次】
法律基本科目の必修総単位数

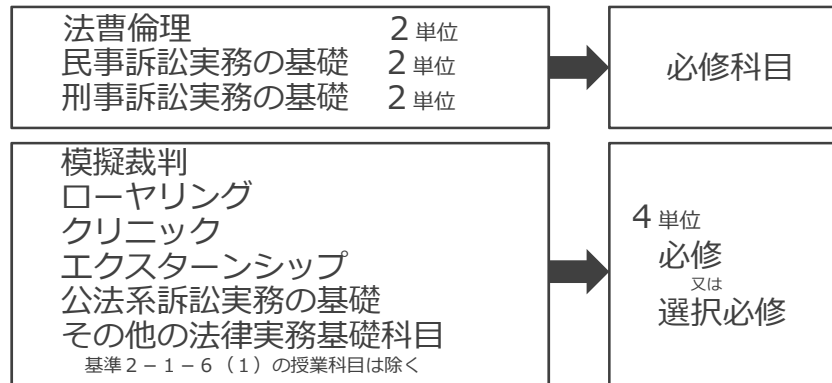
上限 72単位

【要綱 9頁 新旧11頁】

11

基準 2 - 1 - 6

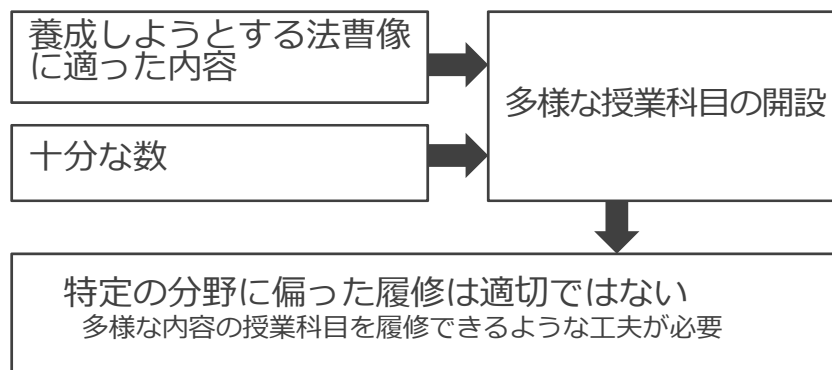
法律実務基礎科目の必修又は選択必修科目



【要綱10頁 新旧12頁】

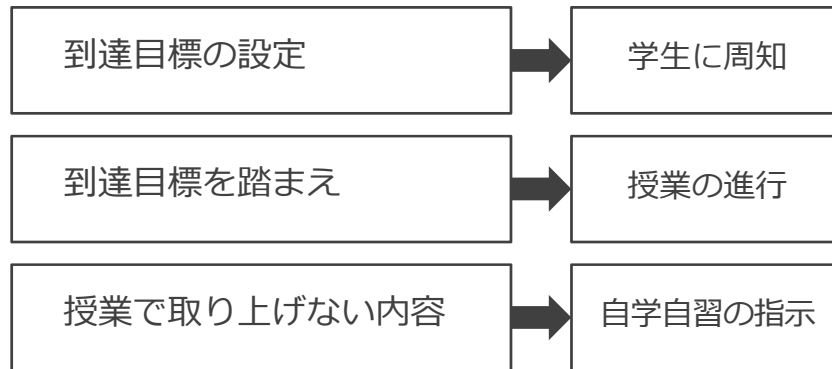
基準 2 - 1 - 8 解釈指針 2 - 1 - 8 - 1

展開・先端科目の履修



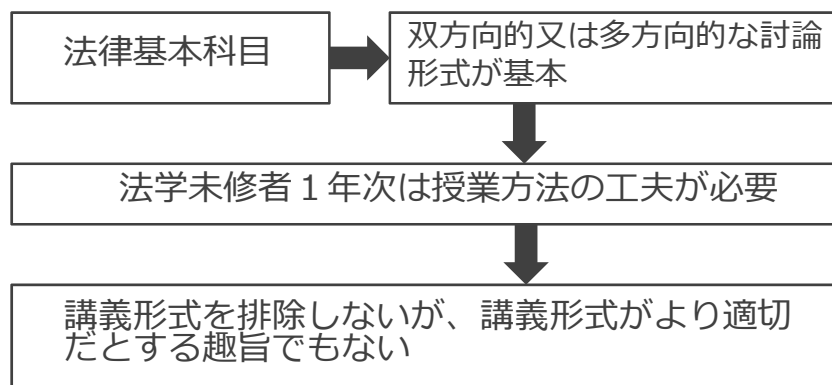
【要綱12頁 新旧14頁】

基準 3 - 2 - 1
到達目標の周知



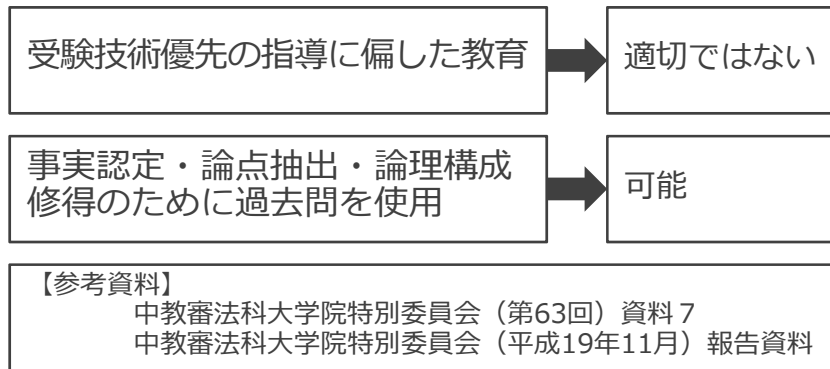
【要綱15頁 新旧16頁】

解釈指針 3 - 2 - 1 - 4
法学未修者の法律基本科目の授業形態



【要綱16頁 新旧17頁】

基準 3 - 2 - 1 解釈指針 3 - 2 - 1 - 5
 受験技術優先の指導に偏した教育の禁止



【要綱16頁 新旧17頁】

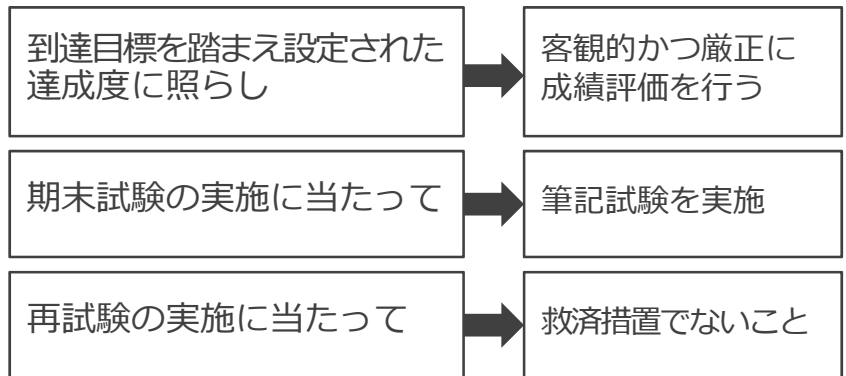
基準 3 - 3 - 1
 履修科目登録単位数の上限

年次		法学未修者	法学既修者
1年次	原則	36単位	
	例外	法律基本科目 8単位	
2年次	原則	36単位	
	例外	①実習 4単位 ②法律基本科目 8単位	①実習 4単位 ②3-3-1(1)イ 6単位
3年次	原則	44単位	

進級が認められた場合の再履修科目は4単位まで可
 いずれの年次も44単位を超えることはできない

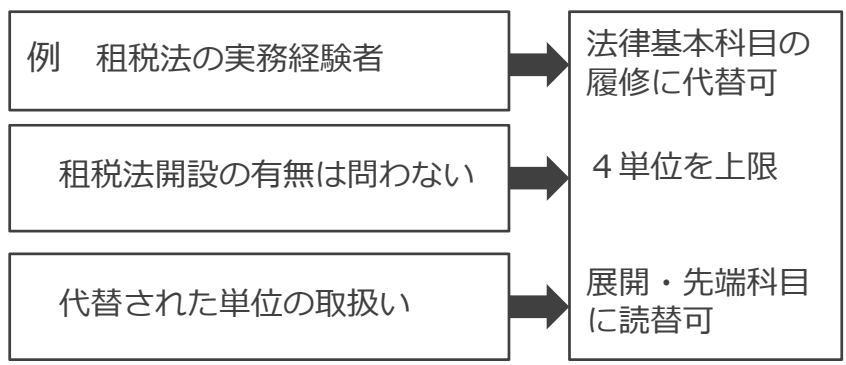
【要綱17頁 新旧19頁】

基準 4 - 1 - 1
成績評価



【要綱19頁 新旧23頁】

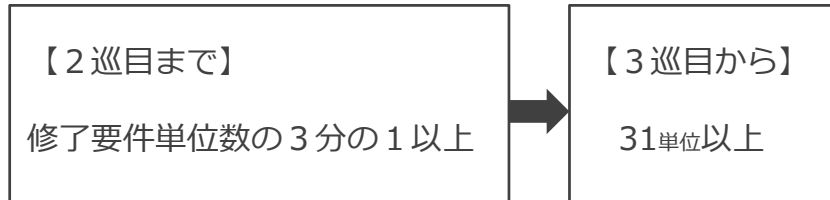
基準 4 - 2 - 1 (2)
十分な実務経験を有する者の取扱い



【要綱23頁 新旧29頁】

基準 4 - 2 - 1 (3)

法律基本科目以外の科目の修得単位数

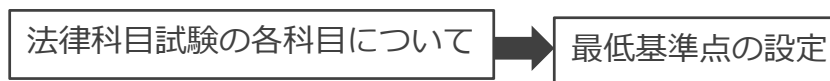


法律基本科目の必修総単位数は従来どおり62単位が上限

【要綱23頁 新旧29頁】

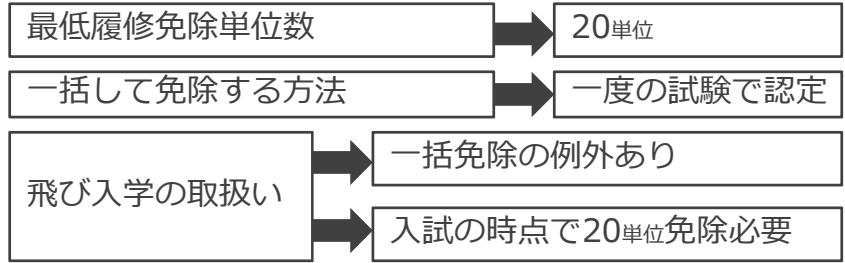
基準 4 - 3 - 1

法律科目試験



【要綱25頁 新旧31頁】

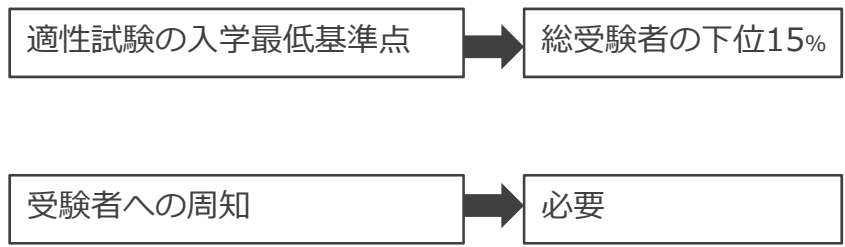
基準 4 - 3 - 1 法学既修者認定



【法学既修者認定の例】
1年次配当の法律基本科目 6科目 26単位の場合
通常の学部生 6科目 26単位
飛び入学者 4科目 20単位 (20単位を下回ることは不可)
→ 残りの2科目 6単位を入学までに実施可

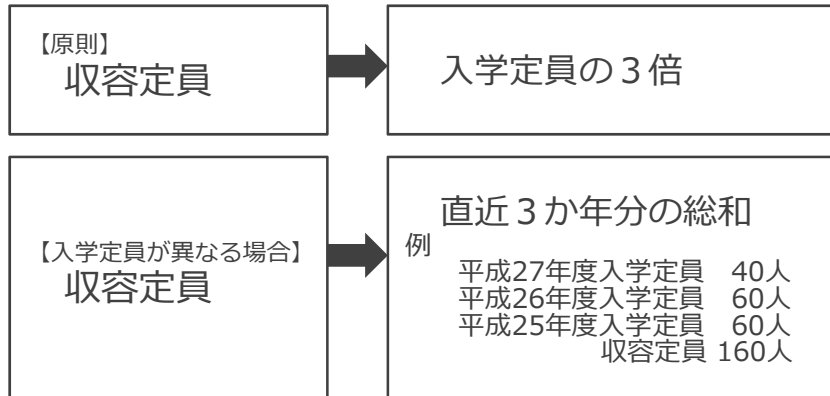
【要綱25頁 新旧31頁】

基準 6 - 1 - 4 適性試験の入学最低基準点



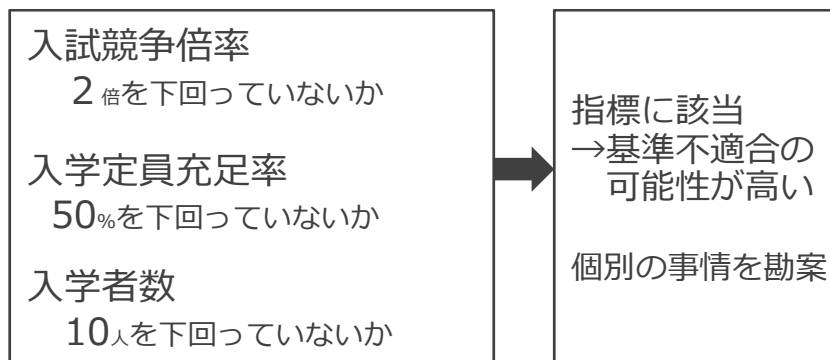
【要綱30頁 新旧39頁】

基準 6-2-1 解釈指針 6-2-1-1
収容定員



【要綱31頁 新旧41頁】

基準 6-2-2 6-2-3
入学者選抜に関する指標



【要綱31頁 新旧41頁】

基準 8 - 2 - 1 専任教員 (1)

専任教員を12人必要とされる法科大学院の例

15人の専任教員を配置		
研究者教員 9人	実務家教員 3人	
専属専任教員 12人		他専攻等の専任教員兼務 3人
専門職大学院設置基準で必要とされる数		余剰分

専任教員 (他専攻等兼務含む) は教員組織調査の対象

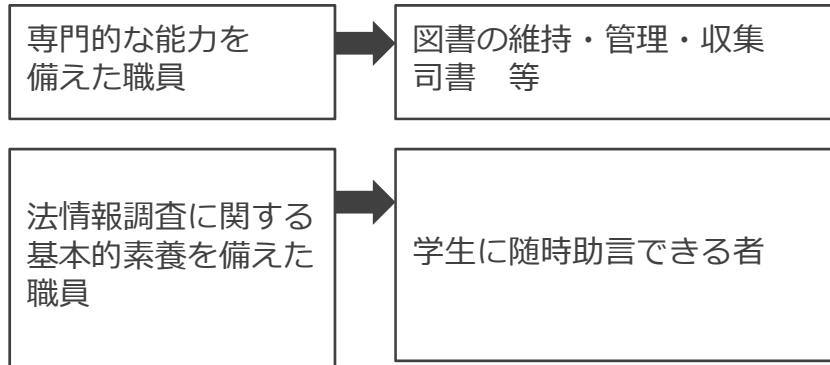
【要綱39頁 新旧47頁】

基準 8 - 2 - 1 専任教員 (2)

分類		種別	
専任教員	専属専任教員	研究者・専任教員	研・専
		実務家・専任教員	実・専
	実務家・みなし専任教員	実・み	
	専属以外の専任教員 (他専攻等の専任教員)	専・他	
専属専任教員	専門職大学院設置基準で必要とされる数に基づく規定は専属専任教員が必要基準上、専属専任教員と明記		
専任教員 (専・他含む)	専任教員に求められる規定はすべて適用例 教員組織調査 授業負担 サバティカル等		

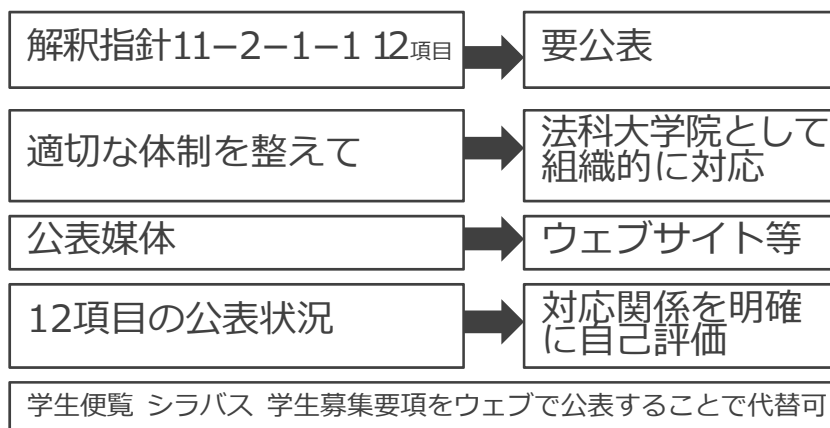
【要綱39頁 新旧47頁】

基準10-1-1 解釈指針10-1-1-4
図書館職員



【要綱45頁 新旧54頁】

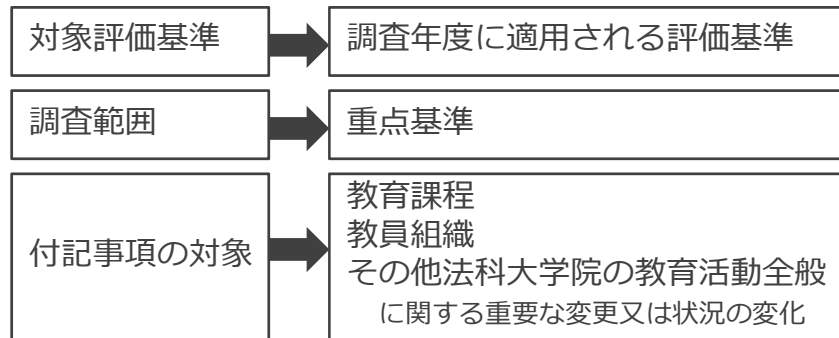
基準 1 1 - 2 - 1
情報の公表



学生便覧 シラバス 学生募集要項をウェブで公表することで代替可

【要綱48頁 新旧57頁】

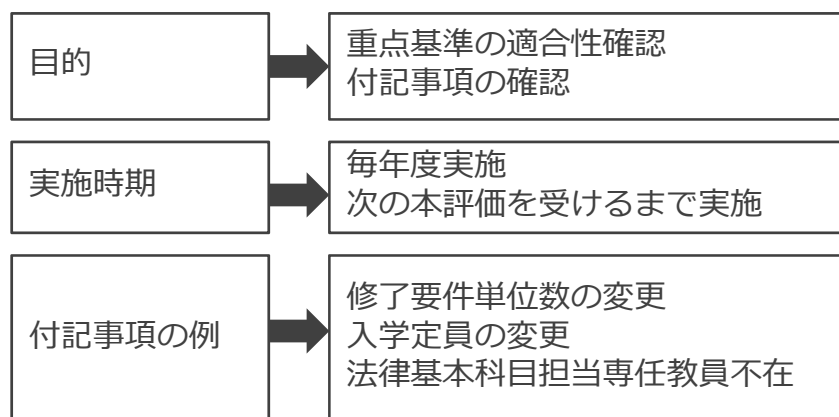
7 評価実施後の法科大学院における 教育活動等の質の確保



【要綱57頁 新旧67頁】

30

年次報告書（1）



31

年次報告書（2）

3. 教育課程及び教育方法

(1) 開設授業科目数

基準 2-1-3～2-1-8
基準 4-2-1の確認

(2) 開設法律実務基礎科目

基準 2-1-6の確認

(3) 授業時間等の設定

基準 2-1-9の確認

【年次報告書作成要領13～16頁】

32

年次報告書（3）

5. 入学者選抜

(3) 入学者選抜の実施状況

直近の実績を記入

(5) 入学者選抜の改善

調査年度を含めた今後の
予定を記入

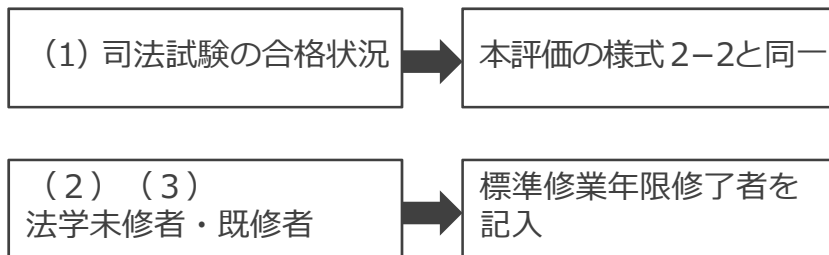
調査年度実施分の入試で入学定員を変更する場合
(5) に記入

【年次報告書作成要領24～25頁】

33

年次報告書（４）

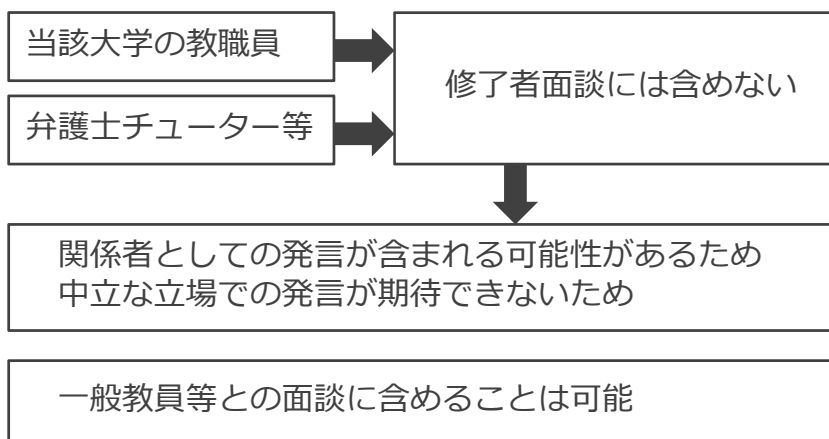
6. 修了者の進路及び活動状況



【年次報告書作成要領26～28頁】

34

訪問調査 修了者面談



【訪問調査実施要項4頁】

35